

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	1月25日(木) 2月9日(金) ～10日(土)	IAHR 総会報告会 第12回水理講演会	土木学会 東 京	12号5ページ参照 12号6 "
関東支部	1月23日(火)	アジアの開発講演会	土木学会	12号8 "
関西支部	1月18日(木) 1月18日(木) 2月6日(火)	海外事情講演会 会員懇親会 シールド工法研究会	大 阪 市 同 同	12号9 " 12号9 " 12号9 "
西部支部	2月下旬	研究発表会	岡 福 市	12号9 "
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 42年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集 ■ I.A.H.R. 日本開催について ■ 日本学会議会員選挙に関する有権者名簿の登録について ■ 第12回国際応用力学開催について ■ 文献複写について ■ 第5回理工学における同位元素研究発表会論文募集 ■ 国際会議のお知らせ 			12号2 " 12号5 " 12号6 " 12号10 " 11号8 " 11号10 " 11号12 "

第54回通常総会開催のお知らせ

昭和43年の通常総会は、つぎの日程で東京都において開催いたします。多数ご参加下さい。

1. 開催日時：1968年5月28日(火) 13.00～18.00
2. 場 所：私学会館7階講堂(国電市ヶ谷駅下車徒歩3分)
3. 次 第：

総 会 事 業 報 告
 決 算 報 告
 名 誉 会 員 推 挙
 土 木 学 会 賞 授 与
 新 役 員 の 紹 介
 特 別 講 演 会 長 講 演 ほか
 懇 親 会 私 学 会 館 7 階

なお第23回年次学術講演会は、この度から通常総会とは分離して、1968年10月11日(金)～15日(火)の間、名古屋市名古屋大学において開催します。このほか、特別講演、部門講演、PR講演、懇親会、見学会等をあわせて行ない「土木学会昭和43年度全国大会」と称することになりました。この大会のくわしいことはあとでお知らせいたします。

昭和 42 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和 42 年 10 月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし、土木学会賞のうちの功績賞については公募いたしません。

◎土木学会賞候補募集要項

種別	項目	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候 補 対 象		土木專業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績	(論文賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたものの。 (論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として受賞時(43年5月末日)に満36才未満であるもの。	コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学術協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案などの報告、またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。 (作品) 橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とし、つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの。
受賞候補者	個人または団体	本会会員に限る。 過去の土木受賞者は既受賞者として、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないものが含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。	本会会員に限る。 過去の土木受賞者は既受賞者として、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないものが含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。	日本に国籍を有する個人または研究グループ。ただし、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	(論文) 個人またはその複数 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲	昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間に発表されたもの、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたもの、他、他学・協会・大学・官公庁・会社などの刊行物に登載されたものなど、内容審査に必要な資料の揃っているものに限る。	昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間に発表されたもの、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたもの、他、他学・協会・大学・官公庁・会社などの刊行物に登載されたものなど、内容審査に必要な資料の揃っているものに限る。	(論文) 論文賞、吉田賞に同じ。 (作品) 昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間に完成した橋梁およびそれに関連する構造物で、日本人により計画設計あるいは施工されたものに限る。	
推薦(応募)の方法	推薦者は会員、支部、土木專業に関連する学・協会法人とする。推薦者は別の定める推薦書、候補業績の要旨各1部を提出する。当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は会員、支部その他一般とするが会員自らの応募であってもよい。推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	推薦者は会員、支部、その他一般とする。推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。	(論文) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて審査に必要な資料20部を提出しなければならない。 (作品) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。推薦者は別に定める推薦調書1部を提出する。	
(推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)					
審査	表彰委員会において行う。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求められることがある。	吉田賞選考委員会において行う。	田中賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに関係資料の提出を求められることがある。	
表彰	第54回通常総会において行い、賞状、賞牌を贈る。	第54回通常総会において行い、賞牌、賞状、賞金を贈る。	第54回通常総会において行い、賞牌、賞状、賞金を贈る。	第54回通常総会において表彰する。	
締切期日	昭和 43 年 1 月 20 日				
提出先	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会	

土木学会表彰規程

(総 則)

第1条 土木学会第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞（総称）を授与して行う。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

(功 績 賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

(技 術 賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論 文 賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

- (2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として受賞時に満36才未満であるものに授与する。

(吉 田 賞)

第6条 吉田賞はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれに関連する優秀な研究、工事等を行ったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(田 中 賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

- (1) 論 文
橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。
- (2) 作 品
橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すと認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その他特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別に選ばれる。

(委 員 会)

第8条 土木学会賞を審議決定するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会
- (2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行い、土木学会賞受賞候補を決定する。
- (3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行う。
- (4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行う。
- (5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行う。
- (6) 前記各委員会の構成、運営その他については別に内規で定める。

(表彰の時期、方法)

第9条 表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行う。

◎吉田研究奨励金候補者の募集

1. 候補対象

コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、授与されるものが昭和7年6月1日以降出生のものに限り、かつ、原則として、同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

2. 募集の題目

次の要望課題に加え自由課題についても募集する。

(1) 要望課題

- ① 鉄筋コンクリート部材の極限設計に関する研究
- ② 高張力異形鉄筋の有効な使用方法に関する研究
- ③ 軽量コンクリートに関する研究
- ④ 砕石コンクリートに関する研究

(2) 自由課題

3. 募集の方法

日本に国籍を有する個人または研究グループ

4. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか、昭和44年10月中旬施行の第24回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

5. 応募の方法

一定の様式による研究計画書1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

6. 審査

吉田賞選考委員会において行う。

7. 締切期日

昭和43年1月20日

8. 提出先

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者(敬称略)

功績賞	田淵 寿郎	土木工学ならびに土木事業の進展
	青木 楠男	同
技術賞	日本道路公団	名神高速道路の建設
論文賞	小中 松定 夫博	曲線桁橋の自由振動に関する研究(英文)
論文奨励賞	佐藤 吉彦	乗心地の立場からみた軌道高低狂いの整備限度
	首藤 伸夫	長波の打上高
	柴田 徹	Flow and Stress Relaxation of Clays
吉田賞	丸安 隆和 小阪 一輔 本 好史	高炉セメントコンクリートの研究
	松本 嘉司	鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角げたの設計に関する研究
田中賞	平井 敦功 岡内 利雄 官 田 利雄	On the Behaviour of Suspension Bridges under Wind Action
	天門 橋	(天草五橋の内)
	目黒 跨道橋	(首都高速2号線)

I.A.H.R. 日本開催および I.A.H.R. 総会報告会

土木学会水理委員会

本年9月11日から、9月14日にかけて、アメリカコロラド州 Fort Collins において、第12回 I.A.H.R. (国際水理学会) 総会が開催されました。その席上、林 泰造氏(水理委員会副委員長)が、次期の I.A.H.R. 副会長に選出され、また同時に、第13回 I.A.H.R. 総会が京都で開催されることに正式に決定されました。これに関する事項を含めまして、今回の I.A.H.R. 総会の報告会を下記により開催いたします。

記

日 時: 1968年1月25日(木) 13.00~16.00

場 所: 土木学会図書館講堂

報告プログラム:

13.00~13.30	岸 力	北海道大学
13.30~14.00	岩崎敏夫	東北大学
14.00~14.30	足立昭平	名古屋大学
14.30~14.45	休 憩	
14.45~15.15	田中 茂	神戸大学
15.15~15.45	室田 明	大阪大学
15.45~16.15	岩佐義朗	京都大学
16.15~16.30	石原藤次郎	京都大学

なお I.A.H.R. 総会の前後にかけて行なわれました国際水文学シンポジウム(報告者・岸 力(北海道大学))および流体模型実験における相似律に関する日米協力セミナー(報告者・岩佐義朗(京都大学))に関する報告もあります。

附記 1.

日本で行なわれます第13回 I.A.H.R. 総会の課題につきましては、一部の変更はあるかも知れませんが、ほぼ下記の通りです。

会 期: 1969年8月31日~9月5日

会 場: 京都国際会議場

課 題: SUBJECTS FOR TECHNICAL SESSIONS

A. Simulation Techniques in Water Resources Engineering

B. Multi-phase Flows

C. Estuary Hydrodynamics

D. Hydrodynamics of flows in porous media

SUBJECTS FOR CONGRESS SEMINARS

A. Supercavitation

B. Laboratory and field measuring techniques in research on hydraulic machinery and equipment

C. Variations in river morphology

D. Generation and analysis of random waves

附記 2.

国際水理学会(International Association for Hydraulic Research, 略称 I.A.H.R.) 入会ご希望の方は、土木学会水理委員会に請求して、申し込み用紙を入手され、必要事項を記入して事務局長の Schoemaker(住所は申し込み用紙に書いてあります)あてお送り下さい。

会員には、1. 個人会員(年会費 \$7.00)、2. 法人会員(同 \$40.00)の他、賛助会員があり、2年に1回、総会が開かれています。昨年1月より、会長には J.W. Daily(ミシガン大, 米国)、副会長の一人に、林 泰造(中大, 日本)が就任されます。なお、会員の資格については、特別な制限はありません。

第 12 回水理講演会開催

◀ 2月9日(金)~10日(土) ▶

第 12 回水理講演会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 会 場 : 発明会館(東京都港区芝西久保明舟町 17 番地・地下鉄虎ノ門下車徒歩 3分)
2. 主 催 : 土木学会水理委員会
3. プログラム : 第 1 日 2月9日(金)

- | | | |
|------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 9.55~10.00 | 開会あいさつ | 土木学会水理委員会委員長 石原 藤次郎 |
| 10.00~10.15 (1) | 波による塩淡水の混合について | 東京工業大学工学部 ○椎貝博美・河野二夫 |
| 10.15~10.30 (2) | 密度成層海における流れと密度の分布について | 電力中央研究所 ○和田 明・三菱原子力工業KK 吉林澄子 |
| 10.30~10.45 (3) | 河口の flow pattern について | 北海道大学工学部 ○柏村正和・吉田静男 |
| 10.45~11.00 (4) | 河口成層流における塩水の拡散 | 北海道大学工学部 福島久雄・柏村正和・○八坂 功・大谷守正 |
| 11.00~11.10 | 討 議 (1)~(4) | |
| 11.10~11.15 | 休 憩 | |
| 11.15~11.30 (5) | 成層乱流中の塩分鉛直分散に対する乱子モデルの応用 | 京都大学農学部 南 勲 |
| 11.30~11.45 (6) | 成層流体における乱流拡散の理論的考察 | 運輸省港湾技術研究所 浜 田 徳 一 |
| 11.45~12.00 (7) | 自由水面を持たぬ水路内における密度流に関する実験報告 | 東京電力KK 野口俊郎・○二重作主税 |
| 12.00~12.10 | 討 議 (5)~(7) | |
| 12.10~13.20 | 昼食・休憩 | |
| 13.20~13.35 (8) | 貯水池内における洪水伝播の解析とダム放流操作に関する考察 | 電力中央研究所 ○秋元 保・丸岡 計 |
| 13.35~13.50 (9) | 流れに発生する表面波について(第二報) | 名古屋大学工学部 ○細井正延・杉山錦雄 |
| 13.50~14.05 (10) | 床固め上流の洗掘 | 東京大学工学部 ○鮎川 登・矢島勝弘 |
| 14.05~14.20 (11) | 河道平衡理論に関する二、三の考察 | 建設省土木研究所 土 屋 昭 彦 |
| 14.20~14.30 | 討 議 (8)~(11) | |
| 14.30~14.35 | 休 憩 | |
| 14.35~14.50 (12) | 河道形成に関する一考察 | 建設省土木研究所 石 崎 勝 義 |
| 14.50~15.05 (13) | 琵琶湖の湖岸デルタの特性 | 京都大学防災研究所 矢野勝正・奥田節夫 |
| 15.05~15.20 (14) | 支配流量の一計算法 | 京都大学理学部 堀江正治・京都大学工業教員養成所 ○大同淳之 |
| 15.20~15.35 (15) | 洪水時の河床洗掘について | 岐阜大学工学部 河 村 三 郎 |
| 15.35~15.50 (16) | 砂運のスペクトル | 岐阜大学工学部 河 村 三 郎 |
| 15.50~16.00 | 討 議 (12)~(16) | 東京工業大学工学部 日 野 幹 雄 |

第 2 日 2月10日(土)

- | | | |
|------------------|---|-------------------------------------|
| 9.45~10.00 (17) | Kármán Constant に関する二、三の考察 | 東京工業大学工学部 福 岡 捷 二 |
| 10.00~10.15 (18) | 曲線流の乱れの特性について | 京都大学防災研究所 村 本 嘉 雄 |
| 10.15~10.30 (19) | 河床変動のスペクトル特性について | 京都大学防災研究所 ○芦田和男・京都大学大学院 奈良井修二 |
| 10.30~10.40 | 討 議 (17)~(19) | |
| 10.40~10.45 | 休 憩 | |
| 10.45~11.00 (20) | 情報理論的水文学の一手法 | 東京工業大学工学部 日 野 幹 雄 |
| 11.00~11.15 (21) | サージタンクの自励振動に対する理論的研究(2)—発電水力工学におけるシミュレーション— | |
| 11.15~11.30 (22) | 砂層内の塩分拡散に関する研究(第一報) | 九州電力KK 村 瀬 次 男 |
| 11.30~11.45 (23) | 河道内の流れの特性について(第一報) | 東京大学工学部 広沢裕晴・虫明巧臣・東京大学大学院 ○潘 信雄 |
| 11.45~11.55 | 討 議 (20)~(23) | 東京大学生産技術研究所 井口昌平・○吉野文雄・東京大学工学部 鮎川 登 |

◎講演集:参加者の便宜のため当日会場で頒布いたしますから、ご必要の方はお買求め下さい(B5判 135 ページ程度、価格未定)

◎終了後、午後1時より“最近の河川災害調査に関するシンポジウム”を同会場において行ないます。ふるってご参加下さい。

日本学術会議会員選挙に関する有権者名簿登録について

1968年11月25日に日本学術会議第8期会員選挙が行なわれますが、日本学術会議会員の選挙において選挙し、または、選挙されるためには、日本学術会議事務局に備えた有権者名簿に登録されていなければなりませんので、下記による手続をとって下さい。

記

1. 登録カードの提出について

(1) 前回(第7期昭和40年)の選挙の有権者については、前回提出のカードにより、本年資格審査が行なわれました。

これに関し、日本学術会議中央選挙管理会から登録用カードを提出されるよう通知のあった方以外の方は、すべて有権者名簿に登録されますから、あらためて登録用カードを提出する必要はありません。

ただし、前回の登録における所属以外の部または専門で今回の登録を求めようとする方は、下記様式第1の「所属部または専門変更届」により、登録用カード用紙を請求して下さい。

(2) 前回の選挙の有権者以外のおおよび前回の選挙の有権者で中央選挙管理会からあらためて登録用カードを提出されるよう通知のあった方が、今回の選挙に登録を求める場合は、中央選挙管理会に登録用カード用紙を請求入手のうえ、昭和43年3月31日までに中央選挙管理会に必着するよう登録用カードを提出しなければなりません。

4月1日以後に到着した登録用カードは、中央選挙管理会で保管して、次回(第9期昭和46年)の会員選挙の登録用カードとして取り扱います。

2. 登録用カード用紙の請求について

(1) 登録用カード用の請求に関し、大学、研究機関等に対して、「登録用カード用紙請求者名簿」の提出を依頼して、便宜上これをもって「登録用カード用紙請求書」に代え、その提出された名簿に基づき、中央選挙管理会から当該大学、研究機関等あ一括カード用紙を送付します。

したがって、中央選挙管理会から名簿提出を依頼された大学、研究機関に所属する方で、すでに個人としてカード用紙を請求した方以外の方は、なるべくその所属の大学、研究機関等から提出の名簿によって、登録用カード用紙を請求して下さい(名簿によって請求する場合は、個人からの請求は不要ですから、重複して請求しないよう特に注意して下さい)。

(2) 前記大学、研究機関等に所属しない方等で今後個人で、カード用紙を請求する方は、下記様式第2により「登録用カード用紙請求書」を直接中央選挙管理会あて提出して下さい。

3. 有権者等の異動届について

有権者は、氏名、住所、本籍、勤務機関および職名および勤務地のいずれかに異動があったとき、博士の学位を取得した場合または住居表示の変更があったときは、そのつどすみやかに、下記様式第3により、「有権者異動届」を中央選挙管理会に提出しなければなりません。これを怠るときは、有権者の権利を行使できないことがあります。

なお、登録用カード提出者は、有権者名簿に登録される以前においても異動の届を励行して下さい。

また、本人が死亡した場合は、その旨を遺族またはその関係者から届け出て下さい。

なお、不明の点は、日本学術会議中央選挙管理会(東京都台東区上野公園内 電話 821-3751 代)へお問合せ下さい。

様式第1(用紙はなるべく半紙半截大(B5)のもの、または葉書を用いてください。様式第2、第3の場合も同じ)

所属部または専門変更届			
	昭和	年	月 日
日本学術会議中央選挙管理会 御中	(現登録の所属)第	部	学 地方区
	(ふりがな)		
	氏 名		印
<p>わたくしは、日本学術会議第8期の会員選挙のため有権者名簿への登録に際しては、現在の所属部または専門を変更いたしたいので登録用カード用紙を請求いたします。</p>			

様式第2

登録用カード用紙請求書

(ふりがな)
氏 名
住 所

勤務機関および職名 (又は自営の職業名)

様式第3

日本学術会議
会員選挙 有権者異動届

昭和 年 月 日

日本学術会議中央選挙管理会 御中

第 部 学 地方区
(ふりがな)

氏 名 ㊦

下記のとおり異動がありましたからお届けします。

事 項	(新)	(旧)
1. 氏 名		
2. 住 所		
3. 本 籍		
4. 勤務機関および職名		
5. 勤 務 地		
6. 博 士 の 学 位	① 学位の種類 ② 授与年 昭和 年	③ 授与大学 ④ 所属学会

(注) 1. 事項 1~6 のうち該当事項のみ記載すればよい。
2. 新たに博士の学位を取得した者は、学位の種類、授与大学、授与年とともに、かならず所属学会名を記入すること。

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電話 東京 351-4133)

「アジアの開発」講演会

◀ 1月23日(火) ▶

アジアの開発は輸出増進、低開発諸国への経済協力等の見地から特に重要視され、建設事業の進出も数多くみられるようになってきました。しかしながらこの進出にはいろいろの困難を伴うなどきびしい現実にぶつかっています。本講演会は、アジア開発の現状、諸計画、問題点などを明らかにし、海外進出の参考に、供しようとするものであります。有志多数のご聴講をおすすめします。

- 1. 期 日 : 1968年1月23日(火)
- 2. 場 所 : 土木図書館講堂
- 3. 会 費 : 無 料
- 4. プログラム :

9.50~10.00 あいさつ
10.00~11.00 アジアの経済開発とわが国の建設協力について
11.10~12.10 アジア諸国の電源開発に関する技術協力について
13.20~14.20 アジア開発におけるコンサルタントの役割について
14.30~15.30 建設業者からみた海外進出の問題点について
15.40~16.30 映画

土木学会関東支部長
建設省計画局建設振興課専門官 川村 光 雄
電源開発(株)海外技術協力部長 吉 越 盛 次
パシフィックコンサルタンツ(株)副社長 河 野 康 雄
前田建設工業(株)取締役 荒 井 力

◀関東支部刊行テキスト頒布について

構造物の基礎	B 5 判 233 ページ	頒価 1 500 円	送料 100 円
写真測量を中心とした新しい測定技術	B 5 判 140 ページ	" 1 000 円	" 70 円
建設工事合理化のための近代管理手法の活用	B 5 判 132 ページ	" 1 000 円	" 70 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関東支部へお申し込み下さい。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元1町丁目149番地
電話 大阪 (06) 981-2510, 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 海外事情講演会

◀ 1 月 18 日 (木) 15.00 ~ ▶

1. 日 時: 1968 年 1 月 18 日 (木) 15.00~17.00
2. 場 所: 好文倶楽部集會室 電話 大阪 (06) 361-1261 番 大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
3. 題目と講師:

開会の挨拶	土木学会関西支部長 河村重俊
15.00~16.00 ① ソ連滞在 300 日雑感	京都大学教授 工博 松尾新一郎
16.00~17.00 ② コンサルタントの海外活動について	パシフィックコンサルタンツ(株)副社長 河野康雄
閉会の挨拶	土木学会関西支部幹事長 伊藤富雄
4. 聴 講: 無料, 来聴歓迎
この講演会終了後別掲のとおり会員懇親会を催しますから多数ご参加下さい。

(2) 会員懇親会

◀ 1 月 18 日 (木) ▶

1. 日 時: 1968 年 1 月 18 日 (木) 17.00 頃の予定 (海外事情講演会終了後)
2. 場 所: 好文倶楽部会議室 電話 大阪 (06) 361-1261 番 大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
3. 参加費: 500 円
4. 申込期限: 1968 年 1 月 11 日 (木)
5. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記 (様式随意) のうえ参加費 500 円を添えて 1 月 11 日 (木) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) シールド工法研究会

◀ 2 月 6 日 (火) 13.00 ~ ▶

1. 日 時: 1968 年 2 月 6 日 (火) 13.00~17.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター 8 階小ホール 電話 大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)
3. 題目と講師:

開会の挨拶	土木学会関西支部長 河村重俊
① 地下鉄シールドの問題点	大阪市交通局高速鉄道建設本部建設部第三建設事務所長 竹山 喬
② 近鉄のシールドの問題点	近畿日本鉄道(株)難波線建設工事局設計課長 齋 哲 司
③ 小口径シールドの問題点	大阪市土木局下水道本部管理課長 谷 和 夫
④ シールド工事施工上の問題点	前田建設工業(株)新谷町作業所長 中野 衛
質疑応答	司会 大阪大学教授 工博 伊藤富雄
閉会の挨拶	土木学会関西支部幹事長 伊藤富雄
4. 定 員: 120 名
5. 聴 講: 無料, 来聴歓迎
(お願い) 各職場班では参加予定人員を 1 月 27 日 (土) までにはがきまたは電話にて土木学会関西支部までご一報下さい。

◀関西支部刊行テキスト頒布について

道路・交通工学における最近の諸問題	頒価 500 円	送料 60 円
シールド工法	" 700 円	" 80 円 (残部僅少)
土質改良工法	" 600 円	" 60 円
建設工事と高分子材料	" 200 円	" 60 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部 (振替口座利用) へお申し込み下さい。

西部支部行事案内 (福岡市警固2丁目11の12 電 福岡 74-1972)

昭和 42 年度研究発表会

1. 開催月日：1968 年 2 月下旬
2. 開催場所：福岡市
3. 発表申込：1967 年 12 月 20 日までに勤務先、会員種別、職氏名、題名を支部あて申込んで下さい。
4. 発表時間：1 題につき 20 分 (質問時間を含む、暗幕設備なきためスライドは使用できません)
5. 原稿提出その他：
 - ① 印刷はオフセット印刷につき発表申込者には支部から原稿用紙を送ります。
 - ② 原稿用紙は 1 ページ 45×36=1620 字詰。1 題につき 4 ページとし超過分は 1 ページにつき 2000 円、2 ページ (1 枚) 4000 円を同時にお送り下さい。
 - ③ 原稿締切：1968 年 1 月 31 日
 - ④ 増刷 20 部はさしあげます。それ以上入用のときはその旨必要部数を記入して下さい。実費申受けます。
6. 旅 費：発表者には当日二等往復汽車賃をさしあげます。

第 12 回国際応用力学会議開催について

理論および応用力学に関する国際連合 (IUTAM) 主催の下で 4 年ごとに開かれる国際応用力学会議総会について、その後日本学術会議力学研究連絡委員会宛に下記の通知が参りましたので、主な事項をお知らせ致します。

1. 日 時：1968 年 8 月 26 日～31 日
2. 場 所：米国スタンフォード大学 (カリフォルニア州)
3. 論文受理予定数：約 285 編 (1964 年 第 11 回会議の時に較べ約 2 倍に増加しています)。このうち約 20 編は SECTIONAL LECTURES です。
4. 講演時間：15 分+5 分 (討論)
5. 申込方法：500 語の要旨、100～150 語の摘要
を各 3 通添え、直接下記宛に申込みのこと。
12 th International Congress of Applied Mechanics. Post Office Box 5789, Stanford, California 94305, U.S.A.
申込期限 1968 年 2 月 2 日までに到着のこと。
6. 受理決定：1968 年 4 月 11 日 (Delft で開催の委員会)
" 5 月 17 日 著者に通知
7. 旅費援助について：

旅費援助がなければ参加できない人には、(5)に記載の宛名で、論文申込と同様に 2 月 2 日までに申込むことになっています。しかし人数も限られ、一部の少額援助しか期待できません (受理論文数も倍加され、地理的にも近いので、日本からの参加者も多くなると予想されます。したがって有志でまとめて航空機利用—往復約 2 週間の予定—すれば割安の旅費で出席でき、かつまとめて旅費援助を受ける可能性もありそうなので検討したらどうかとの要望もあります。論文提出予定者、同会議出席予定者、同航空機便乗希望者など下記にご連絡下さい。

東京都目黒区駒場町 856 東京大学宇宙航空研究所 植村 益次氏宛

工業高校土木科教諭を対称とした夏期講習会テキスト頒布について

去る 8 月 2～4 日東京にて開催した標記講習会に使用したテキストの残部がありますのでご希望の方は土木学会編集課までお申込み下さい。

山本 稔：平面光弾性実験の理論と実験
堀井健一郎：抵抗線ひずみ計によるひずみ計測の原理と実験 } 実費：300 円 (〒共)